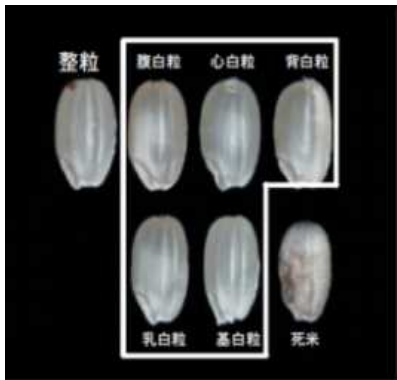


我が国において既に起こりつつある気候変動の影響

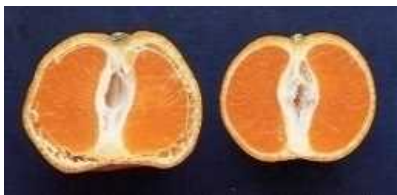
米・果樹

米が白濁するなど品質の低下が頻発。



図： 水稻の白未熟粒 (写真提供：農林水産省)

・水稻の登熟期(出穂・開花から収穫までの期間)の日平均気温が27℃を上回ると玄米の全部又は一部が乳白化したり、粒が細くなる「白未熟粒」が多発。
 ・特に、登熟期の平均気温が上昇傾向にある九州地方等で深刻化。



図： みかんの浮皮症 (写真提供：農林水産省)

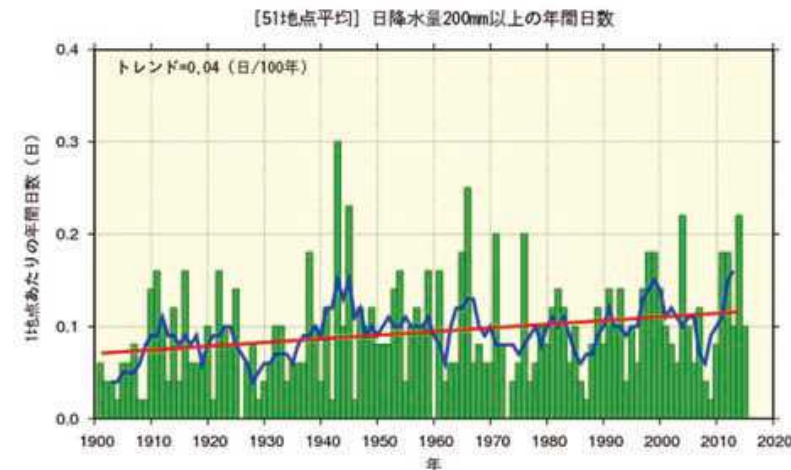
成熟後の高温・多雨により、果皮と果肉が分離する。(品質・貯蔵性の低下)

異常気象・災害



図： 洪水被害の事例(愛知県 広田川) (写真提供：国土交通省中部地方整備局)

日降水量200ミリ以上の大雨の発生日数が増加傾向

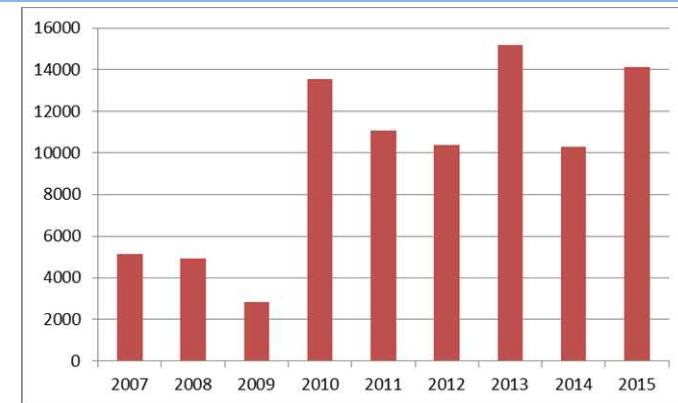


(出典：気候変動監視レポート2015(気象庁))

デング熱の媒介生物であるヒトスジシマカの分布北上

熱中症・感染症

2015年夏、救急車で搬送された熱中症患者の19市・県計は14,125人となった。



(出典：熱中症患者速報平成27年度報告(国立環境研究所)より作成)

サンゴの白化・ニホンジカの生息域拡大



図 ヒトスジシマカ (写真提供：国立感染症研究所 昆虫医科学部)



図 サンゴの白化(写真提供：環境省)



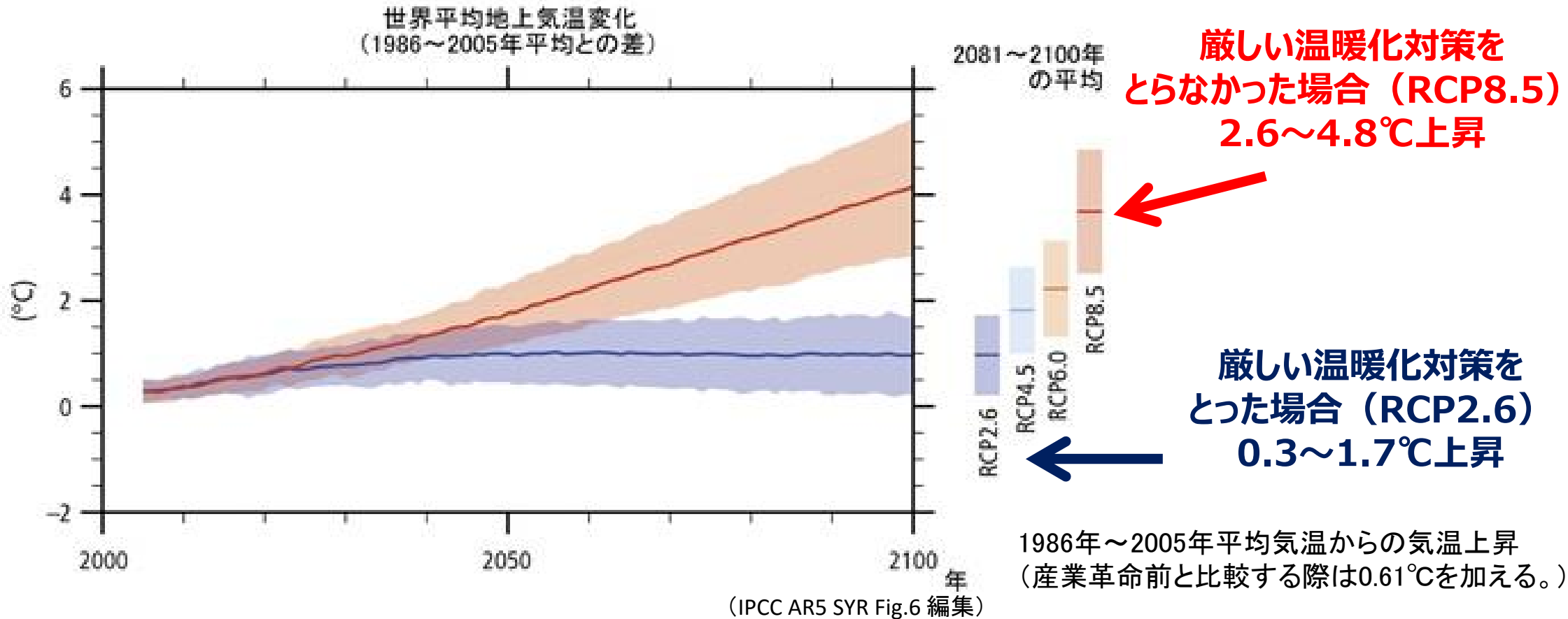
(写真提供：中静透)

農林産物や高山植物等の食害が発生

農山村の過疎化や狩猟人口の減少等に加え、積雪の減少も一因と考えられる。

生態系

将来の気候変動(予測)



1°C上昇: 極端現象(熱波、極端な降水、沿岸域の氾濫等)によるリスクが高くなる。

2°C上昇: 北極海氷やサンゴ礁が非常に高いリスクにさらされる。

3°C上昇: 大規模かつ不可逆的な氷床の消失による海面上昇等のリスクが高くなる。

2. 気候変動の影響への適応計画について

政府の適応計画策定までの経緯

中央環境審議会地球環境部会に「気候変動影響評価等小委員会」を設置
(平成25年7月2日)



中央環境審議会意見具申「日本における気候変動による影響の評価に関する報告と今後の課題について(気候変動影響評価報告書)」の取りまとめ(平成27年3月10日)



「気候変動の影響への適応に関する関係府省庁連絡会議(局長級)」の設置
(平成27年9月11日)



平成27年10月23日～11月6日: 適応計画案のパブリックコメント実施



「気候変動の影響への適応計画」の閣議決定(平成27年11月27日)